

ふるさとと日本の生活の違い



はじめまして。

パビ トラ

わたくしはサルマガル パビトラ クマリ と申します。

ネパールのカトマンズからバスで西へ28時間かかる田舎からまいりました。

今日はネパールの私の村の生活と日本の生活の違いについてお話をします。

私の村には5年前まで電気が来ていませんでした。

子供の頃、電気が来る前はランプをつけて勉強をしていました。

それを見て父が、ソーラーをつけてくれて部屋が明るくなりました。

私の村には大きな道がなく、バスが来れません。

買い物をするときは2時間歩いて店まで行かなければなりません。

私は+料理を作るのが好きなので7歳の頃から料理を作っていました。

水道も7年前まで來ていなかったので水を汲みに川まで行っていました。

そのほかにも、母の仕事を手伝ったり、家畜の世話をしたりしていました。

でも、日本に来て生活が変わりました。

一番大変なことは

ごみを分けて出すこと、時間を守ること、ルールを守ることでした。

仕事から寮に帰ると誰もいないので、さみしいですが、

いま
今はインターネットがあるので
すぐに話すことができるので安心です。毎日、家族に連絡しています。

ほん
日本に来てびっくりしたことは、いっぱいありました。
ネパールには大きな建物とか、電車とか、大きい橋はありません。
がっこう
学校の先生と一緒に遠足で鷺羽山ハイランドで初めて
ジェットコースターに乗りました。

ほんとに怖くて後で頭が痛くなりました。
そこで大きな橋と海を見ました。
ネパールには海がないのでとても大きくてきれいで、うれしかったです。
みち
道がきれいすぎて、こんなにきれいな道では、寝ても汚れないぐらい
きれいですね。皆さん、どう思いますか？

じどうはんぱいき
自動販売機もたくさんあって、とても便利です。
かいもの
買い物も近くにたくさんお店があって、
ほしいものをすぐ買うことができます。

とうきょう
東京のスカイツリー、京都の金閣寺、北海道の雪まつりなど、
いろいろなところに行ってみたいです。

ほん
日本の美味しいものもたくさん食べたいです。
これからもよろしくお願ひします。

せいちょう
ご清聴ありがとうございました。

カイラリ
(ネパール)



